

平成28年度

第2回水戸市公設地方卸売市場運営協議会

日 時 平成28年11月22日(火)
午前10時30分～
場 所 中央棟2階中会議室

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 委員紹介

4 議 題

- | | |
|-------|--------------------------|
| 議案第1号 | 会長及び副会長の選出について |
| 報告第1号 | 平成28年度市場整備事業の進捗状況について |
| 報告第2号 | 平成28年度市場活性化の取組み状況について |
| 報告第3号 | 平成28年度10月末現在市場取扱高の状況について |
| 報告第4号 | 市場再整備計画等について |
| 報告第5号 | 民間活力の活用について |

5 そ の 他

6 閉 会

会長及び副会長の選出について

選出すべき役職名・・・・・・・・会長及び副会長

選出すべき人数・・・・・・・・各1名

(参考)

水戸市公設地方卸売市場運営協議会条例（抜粋）

(会長及び副会長)

第5条 協議会は、委員の互選により会長及び副会長を置く。

2 会長は、協議会の会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

平成28年度市場整備事業の進捗状況について

平成28年度市場整備事業の進捗状況については、下記のとおりです。

記

区 分	予算額 (千円)	内 容 等
施設整備費	197,000	<ul style="list-style-type: none"> ・水産棟変電所改修工事 (平成27年度より繰越) (H27.11～H28.5 執行済) ・水産棟空調設備室外機設置用架台設計業務委託 (H28.6～H28.11 執行中) ・中央棟トイレ改修工事 (H28.8～H28.11 執行中) ・非常用発電設備設計業務委託 (H28.11～H29.2 執行中) ・水産棟低温売場低温設備解体工事 (H29.1～H29.2) ・水産低温買荷保管積込所間仕切り壁設置工事 (H29.1～H29.2) ・水産棟空調設備室外機設置用架台建設工事 (H29.1～H29.3) ・水産棟空調設備改修工事 (H29.1～H29.3) ・青果棟変電所改修工事 (H29.2～H29.3)

平成28年度市場活性化の取組み状況について

1 実績

(1) 市場見学

期 日 4月4日(月) 午前9時～正午
人 数 57名(おやこ劇場ゆめひろば)
内 容 卸・仲卸見学及び冷凍庫入庫体験

(2) 市場見学及びフラワーアレンジメント作り

期 日 5月17日(火) 午前9時～午前11時30分
人 数 22名(一般)
内 容 卸・仲卸見学及びフラワーアレンジメント作り

(3) 市場見学

期 日 5月20日(金) 午前9時～午前11時30分
人 数 11名(水戸産業技術専門学院)
内 容 卸・仲卸・関連店舗売場見学

(4) 市場見学

期 日 6月2日(木) 午前9時30分～午前10時30分
人 数 9名(NHK文化センター料理教室受講者)
内 容 卸・仲卸見学

(5) 市場見学及びマグロのさばき方教室

期 日 6月17日(金) 午前9時～正午
人 数 9名(一般)
内 容 卸・仲卸見学及びマグロのさばき方教室

(6) 市場見学及び料理教室

期 日 7月29日(金) 午前9時～正午
人 数 7名(一般)
内 容 卸・仲卸見学及びスムージーの作り方

(7) 夏休み親子市場見学

期 日 8月20日(土) 午前9時～午前11時30分
人 数 12組35名(親と小学生)
内 容 卸・仲卸・関連店舗売場見学及び冷凍庫入庫体験

(8) 市場見学

期 日 8月23日(火) 午前6時～午前8時
人 数 6名 (OAFIC株式会社・JICA 技術協力「セネガル国バリューチェーン開発による水産資源協同管理促進計画策定プロジェクト」)

内 容 卸・仲卸見学及び冷凍庫入庫体験

(9) 親子市場見学及びフラワーアレンジメント作り

期 日 9月17日(土) 午前9時～午前11時30分

人 数 12組24名(親と小学生)

内 容 卸・仲卸見学及び敬老の日に向けたフラワーアレンジメント作り

(10) 市場見学

期 日 10月3日(月) 午前9時20分～午前11時30分

人 数 42名(石川市民センター)

内 容 卸・仲卸見学

(11) 市場見学

期 日 10月4日(火) 午前9時20分～午前10時20分

人 数 35名(緑岡幼稚園PTA)

内 容 卸・仲卸見学

(12) 市場見学

期 日 10月11日(火) 午前9時30分～午前11時

人 数 23名(梅が丘幼稚園PTA)

内 容 卸・仲卸見学

(13) みとっぼわくわく感謝市

期 日 10月15日(土) 午前9時～正午

来場者 約2,500名

内 容 マグロ解体即売・模擬せり・冷凍庫入庫体験等

(14) 市場見学

期 日 11月8日(火) 午前9時～午前11時

人 数 24名(茨城県鹿行農林事務所・新規就農者)

内 容 卸・仲卸見学及び意見交換会

(15) 市場見学

期 日 11月11日(金) 午前9時10分～午前11時30分

人 数 11名(水戸産業技術専門学院)

内 容 卸・仲卸・関連店舗売場見学

(16) 市場見学

期 日 11月15日(火) 午前6時～午前8時

人 数 6名(静岡県魚市場協会)

内 容 卸・仲卸見学・冷凍庫入庫体験及び意見交換会

(17) 市場見学

期 日 11月19日(土) 午前8時30分～午前9時30分
人 数 14名(北海道茨城会「北海道青果物卸会社13社・全農茨城及び
茨城県」)
内 容 卸・仲卸見学及び意見交換会

(18) 朝市

期 日 毎月第2土曜日 午前9時～正午(水産仲卸午前11時まで)
内 容 関連店舗及び仲卸の一般開放
主 催 関連店舗組合・水産仲卸組合・青果仲卸組合

開 催 日	来場者(延べ人数)	備 考
4 月 9 日	400 人	
5 月 14 日	500 人	
6 月 11 日	500 人	
7 月 9 日	500 人	
8 月 13 日	600 人	
9 月 10 日	500 人	
10 月 8 日	500 人	
11 月 12 日	500 人	

2 今後の予定

(1) 市場見学

期 日 11月25日(金) 午前9時30分～午前11時30分
人 数 10名(県立銚田農業高等学校)
内 容 卸・仲卸・関連店舗売場見学

(2) 親子市場見学及びフラワーアレンジメント作り

期 日 12月17日(土) 午前9時～午前11時
人 数 15組(親と小学生)
内 容 卸・仲卸見学及びクリスマスに向けたフラワーアレンジメント作り

(3) 年末感謝市

期 日 12月27日(火)～30日(金) 午前8時～午前11時
内 容 年末年始商品の販売
主 催 関連店舗組合・水産仲卸組合・青果仲卸組合

(4) 市場見学及び料理教室

期 日 1月・3月 各午前9時～正午
人 数 各10名(一般)
内 容 卸・仲卸見学及び料理教室

(5) 朝市

期 日 12/10 (土), 1/14 (土), 2/11 (土), 3/11 (土)

※ 市場見学随時受付け (早朝・一般)

◎早朝	期 日	月曜日から土曜日 (祝日, 休市日を除く)
	時 間	午前6時30分～午前8時30分
	対象者	中学生以上のグループ, 団体
	内 容	卸, 仲卸, 関連店舗売場見学等
◎一般	期 日	月曜日から土曜日 (祝日, 休市日を除く)
	時 間	午前9時00分～午前11時30分
	対象者	小学生以上のグループ, 団体
	内 容	卸, 仲卸, 関連店舗売場見学等, 花きのせり見学, 冷凍庫入庫体験等

青果・水産物・花き 月別取扱高

単位：円(税込), kg, 本

年	月	青 果				水 産 物				花 き				合 計					
		数量	前年比	金額	前年比	数量	前年比	金額	前年比	数量	前年比	金額	前年比	数量(青果,水産物)	前年比	数量(花き)	前年比	金額	前年比
28	4	10,934,419	103.54	2,714,710,111	101.00	5,577,722	101.60	3,830,560,905	102.07	2,000,112	97.28	138,773,596	99.05	16,512,141	102.88	2,000,112	97.28	6,684,044,612	101.57
	5	11,021,507	102.17	2,869,326,016	97.98	5,776,996	107.78	3,883,526,217	99.87	2,161,014	92.53	142,704,265	92.20	16,798,503	104.03	2,161,014	92.53	6,895,556,498	98.91
	6	11,269,833	95.25	2,871,893,805	98.35	5,764,944	112.61	3,698,368,531	100.69	1,717,321	89.02	99,342,211	93.08	17,034,777	100.49	1,717,321	89.02	6,669,604,547	99.55
	7	9,424,437	96.33	2,289,748,252	95.30	6,252,447	109.18	4,152,177,148	102.31	1,901,634	89.81	107,395,821	93.59	15,676,884	101.07	1,901,634	89.81	6,549,321,221	99.59
	8	9,681,909	101.92	2,306,936,936	91.27	6,121,989	108.30	4,044,170,386	97.14	2,882,751	110.18	168,328,138	91.62	15,803,898	104.30	2,882,751	110.18	6,519,435,460	94.83
	9	10,226,465	94.29	2,533,819,874	93.72	5,949,862	99.95	3,957,908,753	97.32	2,439,966	89.39	144,502,834	90.45	16,176,327	96.30	2,439,966	89.39	6,636,231,461	95.76
	10	10,811,903	86.79	2,893,494,031	114.85	6,240,480	100.83	4,082,471,553	99.69	1,605,526	95.52	130,200,028	114.46	17,052,383	91.45	1,605,526	95.52	7,106,165,612	105.61
	11	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	12	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
29	1	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	2	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	3	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
合 計		73,370,473	96.84	18,479,929,025	98.88	41,684,440	105.55	27,649,183,493	99.82	14,708,324	95.11	931,246,893	95.65	115,054,913	99.83	14,708,324	95.11	47,060,359,411	99.36

前年度4月～10月	75,765,167	97.26	18,689,667,336	111.19	39,490,781	98.88	27,698,279,334	105.20	15,464,685	95.84	973,601,971	103.65	115,255,948	97.80	15,464,685	95.84	47,361,548,641	107.45
-----------	------------	-------	----------------	--------	------------	-------	----------------	--------	------------	-------	-------------	--------	-------------	-------	------------	-------	----------------	--------

27年度取扱高	数量	前年比	金額	前年比	数量	前年比	金額	前年比	数量	前年比	金額	前年比	数量(青果,水産物)	前年比	数量(花き)	前年比	金額	前年比
	130,525,812	97.93	30,942,550,027	107.22	69,285,972	98.40	49,194,730,126	104.33	26,977,801	96.22	1,735,005,170	99.03	199,811,784	98.09	26,977,801	96.22	81,872,285,323	105.28

過去5年の青果・水産・花き 年度別取扱高の推移【4月～10月】

単位：円(上段:税込, 下段:税抜), kg, 本

年度	青 果				水 産 物				花 き				合 計					
	数 量	前年比	金 額	前年比	数 量	前年比	金 額	前年比	数 量	前年比	金 額	前年比	数量(青果,水産物)	前年比	数 量(花き)	前年比	金 額	前年比
23	81,959,619	95.80	16,363,697,004	86.14	43,652,980	92.65	23,650,955,825	93.82	17,414,197	95.46	953,048,912	90.79	125,612,599	94.68	17,414,197	95.46	40,967,701,741	90.53
			15,584,473,340	86.14			22,524,719,837	93.82			907,665,633	90.79					39,016,858,810	90.53
24	81,047,104	98.89	15,721,301,282	96.07	39,707,950	90.96	23,802,116,481	100.64	17,403,807	99.94	946,984,068	99.36	120,755,054	96.13	17,403,807	99.94	40,470,401,831	98.79
			14,972,667,891	96.07			22,668,682,366	100.64			901,889,592	99.36					38,543,239,849	98.79
25	80,166,368	98.91	16,173,020,151	102.87	38,773,942	97.65	23,997,484,839	100.82	16,319,139	93.77	963,568,867	101.75	118,940,310	98.50	16,319,139	93.77	41,134,073,857	101.64
			15,402,876,338	102.87			22,854,747,469	100.82			917,684,637	101.75					39,175,308,444	101.64
26	77,903,553	97.18	16,808,138,982	103.93	39,939,490	103.01	26,329,627,432	109.72	16,135,568	98.88	939,313,243	97.48	117,843,043	99.08	16,135,568	98.88	44,077,079,657	107.15
			15,563,091,654	101.04			24,379,284,662	106.67			869,734,488	94.77					40,812,110,804	104.18
27	75,765,167	97.26	18,689,667,336	111.19	39,490,781	98.88	27,698,279,334	105.20	15,464,685	95.84	973,601,971	103.65	115,255,948	97.80	15,464,685	95.84	47,361,548,641	107.45
			17,305,247,537	111.19			25,646,554,940	105.20			901,483,310	103.65					43,853,285,787	107.45
28	73,370,473	96.84	18,479,931,025	98.88	41,684,440	105.55	27,649,183,493	99.82	14,708,324	95.11	931,246,893	95.65	115,054,913	99.83	14,708,324	95.11	47,060,361,411	99.36
			17,111,047,249	98.88			25,601,095,830	99.82			862,265,645	95.65					43,574,408,724	99.36

市場再整備計画等について

1 現状と課題

少子高齢化，人口減少等による食糧消費の量的変化，消費者ニーズの多様化，流通構造の変化など食品に流通を取り巻く環境は大きく変化している。

本市においても，消費市場の量的・質的变化や取引形態の変化などにより，取扱数量が減少傾向にあり，市場施設の老朽化等の課題も抱えている。

これまで本市の市場は，公設地方卸売市場の中で日本一の取扱高を誇り，水戸市をはじめ近隣の住民に対して生鮮食品を安定供給するだけでなく，東京，北関東など関東近郊の地域も含めた拠点市場となり，経営も安定してきた。

しかしながら，上記のような環境の変化に対応するとともに，集荷・販売力を強化し，水戸市場をさらに発展させていくことが必要である。

そのため，財政収支等バランスを図りながら，市場の機能強化，活性化につながる経営戦略の視点を持った市場再整備計画の策定が必要である。

2 再整備の基本的な考え方

再整備に当たっては，次の項目に重点化を図っていく。

(1) 市場の機能性の向上

- ア 業務の効率化（各施設のレイアウト等）
- イ 保管施設等の充実
- ウ 新規業務に向けた施設の整備

(2) 老朽化施設の改善

(3) 市場の安全，安心の確保

- ア 衛生管理の改善
- イ 品質管理の高度化
- ウ 作業動線の見直し

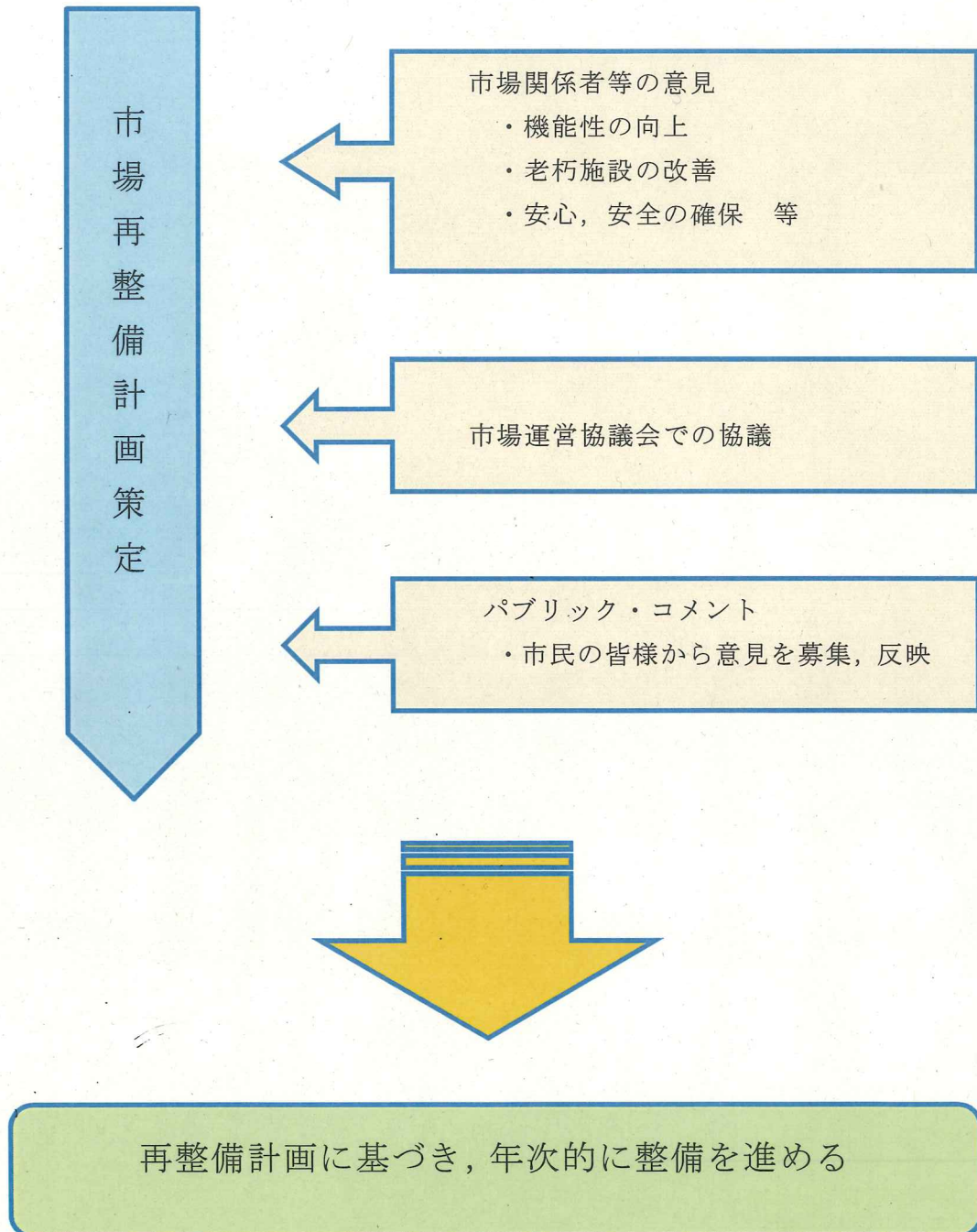
また，水戸市第6次総合計画を踏まえ，再整備を円滑に進めていくため，（仮称）水戸市公設地方卸売市場再整備計画を策定し，財政収支バランスを図りながら，年次的な整備を進めていく。

3 計画策定体制

計画の策定に当たっては，市場協力会をはじめ，市場関係者の意見を聞きながら策定を進めることとする。

【参考】

計画策定体制（イメージ図）



民間活力の活用について

1 これまでの経緯

水戸市行財政改革プラン2013及び2016に基づき、民間の創意工夫により市民サービスの維持・向上及び管理運営費の削減などの効果が図られる施設については、指定管理者制度など民間活力活用の推進を図るものとしている。

公設地方卸売市場は、民間活力活用の検討を図る施設として位置付けられている。これまで、市場運営において、市との連携のもと、警備や清掃等の業務も担ってきた市場協力会を指定管理者と想定し、市場協力会と市において、勉強会を3回開催するなど、意見交換を行ってきた。

2 市場協力会との勉強会の状況等

(1) 勉強会の開催状況

第1回勉強会 平成27年1月16日

第2回勉強会 平成27年9月28日

※自主勉強会 平成27年11月16日 市場協力会理事会(市はオブザーバー参加)

第3回勉強会 平成28年3月1日

※関係者会議 平成28年10月28日

(2) 市場協力会からの主な意見

ア 指定管理者に移行すると生産者からのイメージが悪くなり、集荷力が下がる恐れがある。

イ 市場協力会を指定管理者とする場合、市場協力会の人材の確保や負担の増、組織の方向性の確保に課題がある。

ウ 指定管理者では公平性の確保ができない恐れがある。

エ 食の安全性については、市が責任を持つべきである。

オ 既に業務の一部について市場協力会が費用負担をしており、半分指定管理と同じようなものである。

カ 国の第10次卸売市場整備基本方針に基づく本市の市場戦略を策定するべきである。

キ 時期尚早である。

ク 市場への指定管理者制度導入の例は少ない。また、導入している市場は、小規模な市場が多く、出荷業者等に本市場が今後縮小するような印象を与える。

3 指定管理者に係る検討

指定管理制度の導入の検討として、勉強会等における意見も踏まえながら、直営との比較検討を行った結果は次のとおりである。

(1) 経費効果の比較について

平成 27 年度決算を基に試算をすると、次のとおりとなる。

ア 運営費(水戸市直営)

費目	金額(千円)	備考
人件費	66,426 千円	職員 11 人(うち嘱託員 4 人)
運営協議会費	116 千円	
一般経費	220,113 千円	
負担金(※)	(37,975 千円) (304 千円)	市場協力会に係る負担金 その他の負担金
小計	38,279 千円	
施設維持補修費	18,040 千円	
施設整備事業費	88,915 千円	
公債費	75,528 千円	
計	(A) 507,417 千円	

イ 運営費(指定管理者制度導入の場合)

費目	金額(千円)	備考
指定管理料	(13,884 千円) (38,479 千円) (71,263 千円) (14,589 千円)	指定管理者は嘱託員 7 人程度 一般経費 負担金 修繕費は 50 万円以下の施設修繕費相当額
小計	138,215 千円	
水戸市個別組織 の人員費等	34,520 千円	市内部管理組織人員費 4 人
運営協議会費	116 千円	
一般経費	181,634 千円	
負担金(※)	304 千円	
施設維持補修費	3,451 千円	50 万円超の施設修繕費
施設整備事業費	88,915 千円	
公債費	75,528 千円	
計	(B) 522,683 千円	

※ 負担金

市場協力会に係る負担金 37,975 千円のうち、市場の清掃、警備等に係る費用については、現在、市と市場協力会の構成員で折半し負担しており、市の負担金は 33,288 千円である。指定管理者制度を導入した場合、市場協力会から市のみでの負担を求める意見を踏まえ、清掃、警備等に係る市の負担金は 66,576 千円で、市場協力会に係る負担金は 71,263 千円となる。

直営と指定管理者制度を導入した場合の経費を比較すると、導入した場合、人件費については、18,022 千円の減となるが、市場協力会に係る負担金は 33,288 千円の増になることから、経費全体で 15,266 千円の増となり、経費効果は望めない。

(2) 経費以外の効果の比較について

① 市場の運営について

(ア) 現状

市場の運営に係る様々な課題・問題については、卸各社間の利害調整を図る必要があり、市が公平・公正な立場で仲立ちし、適切に対応している。

(イ) 比較（市場協力会の意見を踏まえた比較）

直営の場合	指定管理者制度を導入した場合
・引き続き公平・公正に対応を図ることができる。	・卸間の課題・問題について公平性が保たれない恐れがある。

② 施設修繕について

(ア) 現状

施設の修繕については、各業者の要望等を受け、市で対応している。

(イ) 比較

直営の場合	指定管理者制度を導入した場合
(50 万円以下の修繕) ・契約手続等に時間を要し、迅速性に欠ける場合がある。	(50 万円以下の修繕) ・頻繁に発生する修繕工事に迅速な対応が可能となる。
(50 万円超の修繕) ・引き続き直営で行うため変わらない。	(50 万円超の修繕) ・引き続き直営で行うため変わらない。

③ 市場活性化事業について

(ア) 現状

市場活性化事業として、市場見学や料理教室等は市が中心に、イベント等については市場協力会が中心になって取り組んでいる。

(イ) 比較

直営の場合	指定管理者制度を導入した場合
・現状は維持されるが、事業内容が定型的になりやすい。	・民間ならではの柔軟な発想による事業展開が期待できる。

④ 市民、利用者の市場に対するイメージについて
比較（市場協力会の意見を踏まえた比較）

直営の場合	指定管理者制度を導入した場合
・出荷業者等に対し安心感を与え、安定した集荷量が期待できる。 ・市民に対し市が責任をもって運営することで、取扱品の安全性や安心感を与えることができる。	・既に指定管理者制度を導入している市場は、全国的に小規模な市場が多く、出荷業者等に対して本市の市場が今後縮小するような印象を与え、集荷量に悪影響を与えるおそれがある。 ・民間が運営することで、市民に対し、安全性や安心感に悪影響を与える恐れがある。

4 公設地方卸売市場の管理運営方針（案）

少子高齢化、人口減少等による食糧消費の量的変化、消費者ニーズの多様化、流通構造の変化など食品流通を取り巻く環境は大きく変化している。

本市においても、消費市場の量的・質的变化や取引形態の変化などにより、取扱数量が減少傾向にあり、市場施設の老朽化等の課題も抱えている。

これまで本市の市場は、公設地方卸売市場の中で日本一の取扱高を誇り、水戸市をはじめ近隣の住民に対して生鮮食品を安定供給するだけでなく、東京、北関東など関東近郊の地域も含めた拠点市場となり、経営も安定してきた。

しかしながら、上記のような環境の変化に対応するとともに、市民の安心感を確保しながら、集荷・販売力を強化し、水戸市場をさらに発展させるためには、経営戦略の視点を持った市場再整備計画の策定が必要である。

このような背景のもと、水戸市公設地方卸売市場の管理運営については、指定管理者制度を導入しても経費効果が望めないこと、既に一部の事務事業について、市場協力会との連携協力のもと実施していること、経営戦略の視点を持った市場再整備を行っていく必要があること等から、当面の間、直営により行うこととする。

また、市場再整備計画を策定し、その施策を推進する中で、さらなる民間活力の活用の検討を行うこととする。